



《岩波少年文庫創刊 70 周年記念 ナルニア国特別企画》

もっと、もっと、読んでほしい！ 岩波少年文庫フェア



大人にも 子どもにも薦めたい

&

“岩波少年文庫 かくれた名作ブッククラブ”

1950 年、戦後間もない時期に、日本の子どもたちへ海外のすぐれた文学作品を手渡すことを意図して創刊された“岩波少年文庫”は今年 70 周年を迎えます。時代は変わり、子どもたちを取り巻く環境は激変しましたが、それゆえ本を読むことの価値は一層高まっているように感じられます。すぐれた子どもの本は大人の読者にも生きる力を与えてくれる—物語の力を信じるナルニア国のスタッフが自信をもっておススメする、岩波少年文庫のフェア&ブッククラブを今年 1 年、多くの方にお楽しみいただければ幸いです。



岩波少年文庫創刊 70 周年フェア

2020 年 4 月から毎月違ったテーマでミニフェアを行います。フェア期間を通してスタンプラリーを開催！ラリーに参加してスタンプを 10 個ためてくださった方には、岩波書店オリジナルのマスクングテープ (2 個セット) とスタッフ手作りの少年文庫サイズブックカバー (1 枚) をプレゼントいたします。

→毎月のミニフェアについては教文館のホームページをご覧ください。

【お知らせ・1】

スタンプラリーはフェアの本に限りません。新刊・既刊本のご購入でも「ラリー参加希望」とカウンターでお声をおかけいただければ、どなたでもご参加いただけます。(期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月まで)

2020 年夏 岩波少年文庫創刊 70 周年記念フェア

“ 冒険してる? ”



岩波書店が創刊 70 周年の夏に行うフェアは、「未来を担う若い世代に、不朽の名作を手にとってもらいたい」と選ばれたロングセラー 30 点の特大版です。購入者全員に、読書の手助けとなる“魔法のしおり”を、またフェア書目から 2 冊以上をお買い上げの方抽選で 3 名様に創刊 70 周年記念ロゴ入り双眼鏡 (ピクセン社製) を、さらにダブルチャンスで 200 名様に特製バンダナがプレゼントされます。詳しくは 7 月 3 日以降、店頭でフェア書籍の帯をご確認ください。

【お知らせ・2】

ナルニア国では、2020 年秋 (9 月～10 月) に岩波少年文庫創刊 70 周年記念フェアを開催します。少年文庫が今よりもっともっと読みたくなる、そんな楽しい展示とイベントを計画中。挿絵原画展や、新刊刊行に合わせた講演会などが予定されています。



【お知らせ・3】

岩波少年文庫創刊 70 周年の今年は、少年文庫に関連したイベントを計画中です。作品の魅力を知り尽くした翻訳者の講演会は必聴！ また少人数の読書会で 1 冊の本を深く読んでみる経験もぜひ一緒に……。

20th



※詳細は決まり次第ホームページ、店頭チラシでご案内いたします。

●ナルニア国のスタッフセレクト “岩波少年文庫 かくれた名作ブッククラブ”

ブッククラブにお申し込みの方先着 20 名様に、岩波書店オリジナルの「ナルニア国地図柄ランチョンマット」をプレゼントします◎

ブッククラブの内容

	A	B
4月	まぼろしの小さい犬 (836円)	人形の家 (704円)
6月	ふくろ小路一番地 (792円)	カイウスはばかだ (836円)
8月	波紋 (792円)	指ぬきの夏 (748円)
10月	バンビ (836円)	チポリーノの冒険 (880円)
12月	とびきりすてきなクリスマス (704円)	クルミわりとネズミの王さま (704円)
2月	お静かに、父が昼寝しております (792円)	星の林に月の船 (770円)



●決められた月の初めに 1 冊の本をお届けします

⇒A と B、 2 冊の候補からどちらか好きな本をお選びください。2 冊でも構いません。

【送料】1 冊の場合はスマートレター (180 円) で、2 冊の場合はレターパックライト (370 円) になります。

※途中の月からでもご参加 OK です。

※店頭での取り置きもお受けします。

※既にお持ちの本で変更をご希望の場合は、スタッフにご相談ください。

●お客様のお好みに合わせて選書をする “ナルニア国スタッフにお任せコース” アリ！ ご希望の方はお電話かメールにてお問い合わせください。(ご希望の本、お持ちの本などお伺いします)

★お支払い方法★

お申し込みいただきました方には、ブッククラブのご請求書(書籍代・送料含む、6 回一括払)をお送りいたします。特典のプレゼントは初回のお送りに同送いたします。

★ブッククラブにご参加の方は、会期中の記念講演会などの優先受付サービスもございます。

★ブッククラブの書籍もスタンプラリー対象となります。

お申し込みや、ご不明な点がございましたら下記までお電話ください。

お問い合わせ：03-3563-0730 (10 時～20 時) e-mail：narnia@kyobunkwan.co.jp (24 時間 OK！)



●岩波少年文庫ブッククラブをご希望の方は、下記にご記入の上ファックス・メール・店頭でご提出ください。

① 申込者氏名（フリガナ）	
② ご請求先住所	〒
③ 電話番号	
④ お届け先住所 ※②と違う場合のみお書きください	〒
⑤ その他ご希望など	
⑥ ブッククラブの本 （いずれかご希望の本に○をしてください） ※2冊の場合は両方に○	<p>4月の本：A『まぼろしの小さい犬』／B『人形の家』</p> <p>6月の本：A『ふくろ小路一番地』／B『カイウスはばかだ』</p> <p>8月の本：A『波紋』／B『指ぬきの夏』</p> <p>10月の本：A『バンビ』／B『チポリーノの冒険』</p> <p>12月の本：A『とびきりすてきなクリスマス』／</p> <p style="text-align: right;">B『クルミわりとネズミの王さま』</p> <p>2月の本：A『お静かに、父が昼寝しております』／</p> <p style="text-align: right;">B『星の林に月の船』</p>



E-mail : narnia@kyobunkwan.co.jp / Fax : 03-3561-7350 (教文館ナルニア国直通)

《岩波少年文庫 今後のラインナップ (予定)》

2020年4月 『ベルリン 1933 (上下)』 クラウス・コルドン作／酒寄進一訳
6月 『ベルリン 1945 (上下)』 クラウス・コルドン作／酒寄進一訳

その後

『チョウはなぜ飛ぶか』 日高敏隆著
『かじ屋と妖精たち イギリスの昔話』 脇明子 編訳
『インド神話』 沖田瑞穂 編訳
『ぼくが子どもだったころ』 エーリヒ・ケストナー作／池田香代子訳

⇒ベルリン3部作と一緒に読んでほしい
ハンス・ペーター・リヒターの自伝的小説
『あのころはフリードリヒがいた』続巻2巻復刊決定！
・『ぼくたちもそこにいた』
・『若い兵士のとき』
5月中旬刊行予定！お楽しみに。

など。ご期待ください！

★秋には限定復刊も出版予定です。書目はわかり次第お知らせします。



『まぼろしの小さい犬』

フィリパ・ピアス作／猪熊葉子訳

760 円＋税

ロンドンに暮らすベンの夢は犬を飼うこと。誕生日に、約束していた犬のかわりに刺繍の犬の絵をもらって失望したベンは、想像の犬を飼いはじめる。やがて引っ越しを機に念願の犬を手に入れるが、それは想像の犬とあまりにも違って……。少年の心の渴望と、葛藤を乗り越える姿をくっきりと写した傑作。〔解説・小川洋子〕



『ふくろ小路一番地』

イーヴ・ガーネット作／石井桃子訳

720 円＋税

ふくろ小路一番地に住む、子だくさんのラッグルスさん一家のにぎやかな物語。長女リリー・ローズがお客さんの洗濯物をちぢませてしまったり、ふたごの男の子ジェームズとジョンが子どもギャングに入ったりと、つぎつぎと事件が起こります。たくましく生きる下町の家族の日常をユーモラスに描いた名作。



『波紋』

ルイーゼ・リンザー作／上田真而子訳

720 円＋税

谷間の僧院へ移ってきた少女は、僧院の静寂のなかで生きる人びとと、自然とともに生きる村人の双方から、数えきれない思い出をもらう。



『バンビ』

フェーリクス・ザルテン作／上田真而子訳

760 円＋税

森に生まれた子鹿のバンビが、仲間たちと交わりながら、いきいきと成長していくさまを描く。初めて草原に出たときの喜び、人間に遭遇したときの恐怖、思春期の目覚め、森の古者へのおそれ……。森の動物たちの世界を、詩的な筆づかいで愛情を込めてとらえた、動物文学永遠の名作。新訳。



『とびきりすてきなクリスマス』

リー・キングマン作／山内玲子訳

640 円＋税

セツバラ家は、お父さんとお母さん、子ども 10 人の大家族。今年も待ちに待ったクリスマスの準備を始めようというとき、船乗りの長男マッティの船が港にもどってこないという知らせが……。きよだいの 5 番目のエルッキは、マッティのかわりに、家族へのプレゼントを手作りすることを思いつきます。さし絵はバーバラ・クーニー。



『お静かに、父が昼寝しております』

ユダヤの民話／母袋夏生編訳

720 円＋税

古代ローマ時代に世界各地に散り散りになったユダヤ人。住みついた土地の言葉や生活にとけこむうちに、知恵とユーモアに富んだ民話が生まれ、語りつがれてきました。本書は、各地のユダヤ民話、ユダヤ教の教えを伝えるたとえ話、創世記から紡ぎだされたお話など 38 編を収録。ユダヤ民話の多様な香りを伝えるオリジナル編集です。



『人形の家』

ルーマー・ゴッデン作／瀬田貞二訳



640 円＋税

小さなオランダ人形のトチーは、「人形の家」に、両親と弟のりんごちゃん、犬のかがりと幸せに暮らしていましたが、ところがある日、ごうまんなマーチペーンが入りこんできて、思いがけない事件が起こります……。真実という大切な問題を人形の家にくした、美しい物語。

『カイウスはばかだ』

ヘンリー・ウィンターフェルト作／関楠生訳

760 円＋税

古代ローマの小さな学校に通う、七人のやんちゃな少年たち。ある日の授業中に、いたずらで書いた「カイウスはばかだ」という落書きが、思わぬ事件に発展して……。無実の罪でつかまった友だちを助けるため、少年たちは一生けんめい、なぞにいとみます。ユーモアたっぷり、元気いっぱい、ドイツ児童文学の名作。

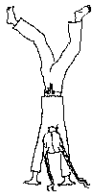


『指ぬきの夏』

エリザベス・エンライト作／谷口由美子訳

680 円＋税

川で銀の指ぬきを見つけた日から、ガーネットの冒険いっぱい夏がはじまりました。森のなかの石炭炉に泊まってアップルパイを食べたり、図書館に閉じこめられたり、兄さんとけんかして家出したり、周囲の人々の愛情に守られて、少女はのびやかに活躍します。農園の暮らしのみずみずしい描写が光る、ニューベリー賞受賞作。



『チポリーノの冒険』

ジャンニ・ロダーリ作／関口英子訳

800 円＋税

ここは野菜とくだものたちの暮らす国。玉ねぎ一家の長男坊チポリーノが、無実の罪で牢屋に入れられてしまった父チポローネを救いだそうと大活躍。仲間たちと力をあわせて、国をおさめているわがままなレモン大公やトマト騎士とたたかいます。語りの名手ロダーリの書いた明るくゆかいな冒険物語を、歯切れのよい新訳で。

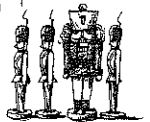


『クルミわりとネズミの王さま』

ホフマン作／上田真而子訳

640 円＋税

クリスマス・イヴの日。マリーはドロッセルマイヤーおじさんからのプレゼントの中に、クルミわりを見つけます……。夢と現実が入りまじって紡ぎ出されるドイツの幻想的な物語。



『星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句』

大岡信編／700 円＋税

意味はわからずとも、まずは五七調のリズムの心地よさをたっぷり味わい、ことばの響きを楽しもう。『万葉集』の和歌から昭和初期の短歌、俳句まで、くりかえしロズさんでほしい約二〇〇作をえらんだアンソロジーです。それぞれに短い鑑賞の手引きをそえました。

